

新設校紹介

川口市立高等学校附属中学校



新しい中学校は、2018年に3校の市立高校を統合して誕生した川口市立高校に併設されます。

1. 教育内容

学校教育目標は「未来を創る しなやかで たくましい人材の育成」です。1日を45分、7コマの授業を基本とし、週35コマで時間割を編成します。中高6年間の「フェーズ1 基礎・体験(中1・中2)」「フェーズ2 探究・実践(中3・高1)」「フェーズ3 発展・挑戦(高2)／飛躍・敢為(高3)」の3期に分けて教育内容を編成します。各フェーズに共通することとして、各学年で日常的に補充的な学習が必要な場合は柔軟に対応するほか、夏休みなどの長期休暇では進学講習を実施します。

(1) 「フェーズ1」

様々な体験等を通して基礎基本を着実に身に付けること、良好な人間関係を形成しつつ、主体的で規律ある生活を確立すること、学校行事等を通して、同じ目標に向かい、協力し合う力を身に付けることを目標としています。1学年80名の募集ですが、特に「フェーズ1」は3クラスとし、1クラス30名未満の少人数で基礎基本の定着に重点を置きます。

英語はCIR(国際交流員)のネイティブ教員が配置されていて、国際理解を深め、グローバル社会に対応した語学力の向上を目指しています。中1のうちから校内イングリッシュキャンプを実施、中2ではTGG(東京グローバルゲートウェイ)を活用した英語学習を実施するなど、英語コミュニケーション能力を伸ばします。また、中1で地層観察、中2で気象学習のサイエンスフィールドワークや水上での自然体験教室を実施するなど、校内に留まらず、積極的に外に出て、本物に触れる体験を積み重ねます。

(2) 「フェーズ2」

基礎・基本の学力だけでなく、学校生活における様々な活動を通して、自ら考え判断して行動することで、一人一人の自主性を養うこと、生徒の主体的な取組を通して、リーダーシップを発揮できる人間性と、最後までやり遂げる力を身に付けること、といった姿勢の形成に重点を置きます。「フェーズ2」の特色の1つは「フェーズ1」で身に付けたものをもとに、課題を解決するための探究活動を進めることです。特に中3では、学校設定科目として「Global Issues」を行います。これは各国の社会的課題や取り組みを英語で学ぶもので、生徒たちが授業を通して課題を発見、調査、探究して解決策を考え、発表する探究のプロセスを実践します。

また、課題発表会で他の生徒の探究の成果を共有、さらに深い思考につなげていきます。このような特色ある取り組みを高校段階でもさらに発展させていくために、高1では中学からの内部進学者と高校入学者は別カリキュラム、別クラスとなります。

(3) 「フェーズ3」

「フェーズ3」は6年間の一貫教育の仕上げとともに、次のステップへの目標実現をやり抜く時期です。高2までで主要教科の中高6年間の基礎基本の習得の徹底を図り、高3では進路希望で文系・理系クラスに分かれ、自身の進路希望に応じた学習内容を学び、卒業後の進路実現に取り組みます。

また、高2では独自の制度として米国オハイオ州フィンドレー高校への長期留学制度(10か月)があります。2名の枠で留学費用の補助制度により一人につき40万円が支給されています。

2. 施設・設備

校舎は全教室に冷暖房設備、換気システム、加湿

器、電子黒板機能つきプロジェクターが設置され、快適な学習環境でICT機器を積極的に活用した授業が展開されます。また、特別教室の空間UIルームは、部屋全体がタッチパネルとして活用できる構造で、協調学習などを行い、学びを深めていきます。ラーニングcommonsは6万冊を超える蔵書があり、図書室として休み時間や放課後に利用するだけでなく、授業の探究活動などで活用します。

現在も完成形をめざした工事が進められていて、バスケットコート3面の広さをもつ屋内体育施設のアリーナ棟は2020年12月ごろ、400mトラックをもつ人工芝のグラウンドは2021年8月ごろの完成を予定しています。また、第2校地もあり、2021年までに完成する予定です。

3. 学校生活

通学は公共交通機関の利用を基本としています。ただし、公共交通機関の利用が著しく困難で、自宅が学校から直線距離で2Km以上離れている場合には、申請で自転車利用が許可される場合があります。制服はボタン、女子のリボン等を除いて高校生の制服と基本的に同じ(男子はマオカラー詰襟スタイル、女子はセーラージャケットスタイル)で、高校に内部進学した後も着用できます。

授業は月曜日～金曜日の週5日で、土曜日は特別講義や英語の各種検定試験などを、年間計画を立てて実施します。昼食は給食ではなく、お弁当持参またはカフェテリアの利用になります。中学と高校で昼食時間を調整して時間割を編成し、ゆったりと食事がとれるようにします。

部活動は進路実現を図る上でも大切であると考えていて、学習と部活動のバランスの取れた活動時間を確保します。中学でスタートする予定の部活動は今後決定しますが、可能な範囲で高校と共同実施する部活動も出るでしょう。文化祭や体育祭は高校と

合同で実施する予定です。

4. 入学者選考

出願資格は川口市在住で、入学後も川口市内に居住し6年間を通じて通学することが確実であることで、転入予定者をのぞいて市外からは出願できません。選考は2段階で、第一次が1月16日(土)、第一次の結果発表が1月21日(木)、第一次の合格者が1月23日(土)の第二次選考に臨み、1月28日(木)に結果発表で、入学確約書の提出は2月8日(月)となります。日程面では伊奈学園中学校と第一次の日程が重なるため、併願はできませんが、1月10日～13日ごろが中心の県内私立中学校とは併願が可能です。また、入学確約書提出期限が2月8日ですから、2月1日からの東京都内私立中学校とも併願可能で、合格校がわかってから確約書を提出することができます。合格者で辞退者が出た場合は、第二次で合格にならなかった受検者から繰り上げ合格者を決定します。

第一次選考は適性検査Ⅰ、Ⅱ各45分、第二次選考は適性検査Ⅲ60分と集団面接約20分を実施します。これに調査書を加えて総合的に選考します。適性検査Ⅰは、文章や資料をもとに、課題を把握・整理し、論理的に物事を考え、多角的・多面的な方法で表現する力を評価します。適性検査Ⅱは数理的な事象、自然事象の分析力、論理的な思考力を評価します。適性検査Ⅲは文章や資料などを読み取り、指示にしたがって文章をまとめ、表現できる力を総合的に評価します。集団面接は入学への意欲や目的意識、自己PR、自分自身の将来目指す姿や希望などを受検生から聞き取り、教育方針等に適性があるかの判断の資料とします。サンプル問題がホームページで公開されています。

<https://kawaguchicity-jh.edumap.jp/admissions>

川口市立高等学校附属中学校 交通案内

- ・JR 西川口駅東口、川口駅東口、蕨駅東口、東川口駅南口、埼玉高速鉄道鳩ヶ谷駅西口からそれぞれバス、川口市立高校下車、徒歩1～3分
- ・駅から徒歩ではJR 西川口駅東口徒歩25分、埼玉高速鉄道鳩ヶ谷駅西口徒歩20分

協力 川口市教育委員会